

東京都立鹿本学園中学部での博物館出前講座 実施要領

実施日時：2015年2月5日（木曜）、10時～11時30分（90分間）

1. 講座のテーマ 「考古学で古代の歴史を体験しよう」

2. 講座のねらい

- a, 考古学の研究成果の一端から、中学校での歴史学習と考古学研究の結びつき、また違いを知り、歴史学習に対する興味と関心を高める。
- b, 古代の遺跡（下総国府跡）から出土した実物の土器をさわって観察し、古代の生活や地域の歴史を身近に感じることができる。
- c, 地域の歴史を調べるための博物館の存在と、その活用方法がわかる。

3. 講座の展開

| 主な学習内容・活動 | 指導上の留意点 | 配時 |
|---|---|-----|
| <p>1. 考古学って、なに？（導入）</p> <p>①考古学は、人類の生活の営みを解き明かす学問であることを理解する。</p> <p>②“遺構”と“遺物”の存在と、その学習価値に気づく。</p> | <p>考古学に対する認識を捉えるために、考古学という言葉にどのようなイメージをもっているか、各生徒に考えを聞く。</p> <p>考古学研究は、物質資料をもとに人類史の解明が目的であることを理解させる。</p> | 10分 |
| <p>2. 考古学研究でどんなことがわかるの？（展開1）</p> <p>①縄文時代の貝塚遺跡を例に、その発掘調査成果から、縄文人が貝塚をどんな気持ちで作ったのかを想像し、考える。</p> <p>②出土した貝殻をさわって観察し、どのような状態で発見されるのかを知り、その種類について調べる。</p> | <p>縄文貝塚の発掘成果を写真で提示して、貝塚の性格について想像し考えさせる。そのうえで、教科書の勉強と研究の結びつきや違い、また研究することの意義に気づくように導く。</p> <p>貝殻の触察は大学生がサポートし、その用途を推理し、図鑑を使って種類を調べさせる。</p> <p><u>* 触察は先生方も是非参加してください。</u></p> | 30分 |
| <p>3. 発掘でなぜ建物跡などがわかるの？（展開2）</p> <p>①和洋女子大学での発掘調査の写真から、遺構が土の色の違いなどから発見できることを知る。</p> | <p>発掘調査で遺構や遺物を発見する方法を写真で解説し、発掘調査と考古学への理解が深まるようにする。</p> | 10分 |
| <p>4. 和洋女子大学で発見された古代の国府（展開3）</p> <p>①和洋女子大学のキャンパスの地に古代の下総国府があったことに気づき、発掘調査で明らかになった国府の様子を知る。</p> <p>②奈良・平安時代の出土土器を触察して歴史を体験するとともに、土器を用いた古代人の生活を想像し、話し合う。</p> | <p>和洋女子大学キャンパス内での発掘調査の様子と出土遺物を写真で紹介し、そこから明らかになった下総国府の概要を説明する。</p> <p>土器の触察は大学生がサポートする。手触り・重さ・匂い・用途の視点で観察し、話し合いにより古代の生活のイメージを広げさせる。</p> <p><u>* 触察は先生方も是非参加してください。</u></p> | 30分 |
| <p>5. 地域を学ぶ博物館の魅力（まとめ）</p> | <p>和洋女子大学文化資料館の紹介を中心に、博物</p> | 10分 |

| | | |
|--|---|--|
| <p>①地域の歴史を学ぶ場として、和洋女子大学文化資料館や他の博物館の利用の仕方を知り、博物館利用に対する関心を高めるとともに、歴史を楽しく学習する方法を発見する。</p> | <p>館の活用方法と学習スタイルの一例を示し、博物館活用のおもしろさと価値に気づかせるとともに、身近な地域の歴史学習への関心を高めさせる。</p> | |
|--|---|--|

4. 準備用品等

- 講座ではワークシートを用いますので、生徒さんには筆記用具を持参するようにご指導ください。
- パワーポイントを使用しますので、遮光のできる部屋での実施をお願いいたします。